



学校教育目標

自ら学ぶ子

「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

6月号 令和3年6月1日

ひとり たんまつ たいよ
一人ひとりに端末が貸与されます

こうちょう とりやま まこと
校長 鳥山 真

がっこう じゅんび さくねん かんきょう あたら こうじ おこな
学校にたくさんの ipad が準備されました。昨年からネット環境を新しくする工事を行い、
こんげつ たんまつ しゅうりょう きょうしつ たんまつ おさ
今月それぞれの端末のセッティングが終了し、教室のボックスに端末が納められました。こ
れでようやくハード面が整いました。これからいよいよ使用がスタートするのですが、どのよう
しょう こ まな か
に使用され、子どもたちの学びはどのように変わるのでしょか。

たと しゃかい か じゅぎょう ねんせい がくしゅう かんが こ
例えば、社会科の授業4年生の「ごみのゆくえ」の学習で考えてみましょう。子どもたちが
かてい で ちょうさ しら たんまつ
家庭で出るごみの調査からスタートします。それぞれが調べてきたことを端末にまとめておき
じゅぎょう みな きょうりゅう きょうし よこはましぜんたい
ます。授業ではそれを皆で共有することができます。また、教師から横浜市全体のごみの
りょう しりょう たんまつ しめ しりょう こ じぶん
量が資料としてそれぞれの端末に示されます。これらの資料をもとに子どもたちは自分の
ぎもんてん たんまつ あらわ はなしあ ないよう たんまつ きろく がっきゅう
疑問点を端末に表し、グループでの話し合いをします。その内容が端末に記録され、学級
ぜんたい きょうりゅう はなしあ しより きょうりゅう
全体で共有し、話し合いをもとに「たくさんのごみをどこでどのように処理するのか」という共通
もんだい う つう えいぞう しら
の問題が生まれます。それぞれのごみのゆくえをインターネットを通じ、映像などで調べます。
とき せいそうこうじょう はたら ひと と もんだいかいけつ
時には清掃工場で働いている人と ZOOM でやり取りをして問題解決にあたります。このよう
こ かないかいつ たいおう がくしゅう なか ともだち しゃかい さまざま ひと
にしていくことで、個の課題解決に対応したり、学習の中で、友達や社会の様々な人とつ
なかりコミュニケーションの機会が増えます。一人ひとりの学習が充実し、本校が育てたい
ししつ のうりょく じぶん かん ちから かないかいつりょく いくせい じゅうぶんきたい
資質・能力である「自分づくりに関する力」「課題解決力」の育成も十分期待できるのでは
ないでしょうか。

こ わたし そうぞういじょう だ かつよう たから
子どもたちは私たちの想像以上にアイデアを出して活用していくかもしれません。宝の
も ぐさ せっきょくてき かつよう
持ち腐れにならないよう、積極的に活用したいものです。